



当社ならではの技術力と革新的な製品を基盤に、マルチパスウェイ戦略を推進し、更なる企業価値の向上を目指してまいります

代表取締役 CEO 兼 COO 社長執行役員  
宮崎 富夫

### 会社概要

- 社名 株式会社ティラド (T.RAD Co., Ltd.)
- 設立 1936年11月11日
- 資本金 85億70百万円
- 市場 東証・プライム (証券コード: 7236)
- 連結売上高 1,622億78百万円 (2026年3月期)
- 代表者 代表取締役 CEO 兼 COO 社長執行役員 宮崎 富夫
- 従業員数 単体 1,525名 (男性 1,332名 女性 193名)  
連結 4,087名 (2026年3月31日現在)

- 事業内容
  - 1.自動車、建設・産業機械等の各種モビリティや発電機・空調機器等に用いられる熱交換器製品の研究・開発および製造・販売
  - 2.環境関連機器の研究・開発および製造・販売
  - 3.熱エネルギー変換技術およびITを活用したソリューションの提供

- 主要製品  
ラジエータ、オイルクーラ、EGRクーラ、チャージエアクーラ、空調機器用フィンコイル、ほか各種熱交換器

- 事業所  
本社 (東京都)  
製作所 (神奈川県、愛知県、滋賀県)  
技術本部 (神奈川県、愛知県、滋賀県)  
営業本部 (東京都、栃木県、神奈川県、愛知県、大阪府)

- 国内連結子会社  
株式会社ティラドロジスティクス / 株式会社ティラドコネクト

- 海外連結子会社  
米国 T.RAD North America, Inc. / Tripac International Inc.  
欧州 T.RAD Czech s.r.o. / T.RAD Sales Europe GmbH  
アジア T.RAD (THAILAND) CO., LTD. / PT T.RAD INDONESIA  
T.RAD (VIETNAM) CO., LTD  
中国 東洋熱交換器 (中山) 有限公司 / 青島東洋熱交換器有限公司  
東洋熱交換器 (常熟) 有限公司 / 濟寧東洋熱交換器有限公司

- 合併会社  
インド TATA TOYO RADIATOR LIMITED

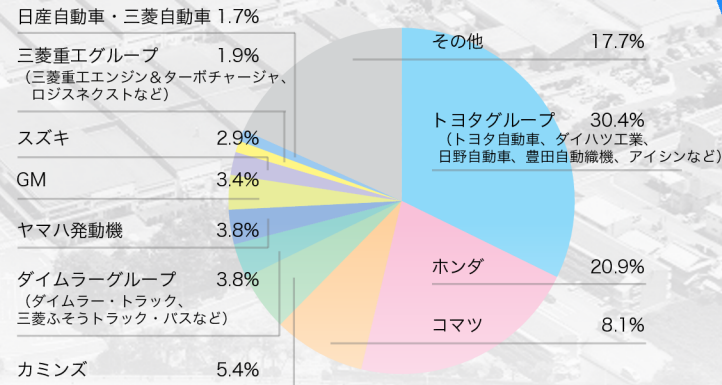
### 沿革

- 1936年 11月11日 株式会社東洋ラヂエーター製作所を創業
- 1940年 名古屋製作所 操業開始
- 1960年 秦野製作所 操業開始、技術研究所 開設
- 1969年 東京証券取引所第一部銘柄上場、  
八日市製作所 (現 滋賀製作所) 操業開始
- 1985年 東和運輸株式会社 (現 株式会社ティラドロジスティクス) を子会社化  
名古屋製作所東浦工場 操業開始
- 1988年 T.RAD North America, Inc. 設立
- 1997年 合併会社TATA TOYO RADIATOR LIMITED 設立
- 1999年 T.RAD (THAILAND) CO., LTD. 設立
- 2000年 T.RAD North America, Inc. Aluminum Div. 操業開始
- 2002年 東洋熱交換器 (中山) 有限公司 設立
- 2004年 T.RAD Czech s.r.o. 設立
- 2005年 4月1日「株式会社ティラド」へ社名変更  
青島東洋熱交換器有限公司 設立
- 2008年 PT T.RAD INDONESIA 設立
- 2012年 東洋熱交換器 (常熟) 有限公司 設立  
T.RAD (VIETNAM) CO., LTD 設立
- 2016年 T.RAD North America Inc.がTripac International Inc.を子会社化
- 2017年 T.RAD Sales Europe GmbH 設立  
青島東洋熱交換器有限公司 連結子会社化
- 2018年 株式会社ティラドコネクト 設立
- 2022年 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、プライム市場に移行

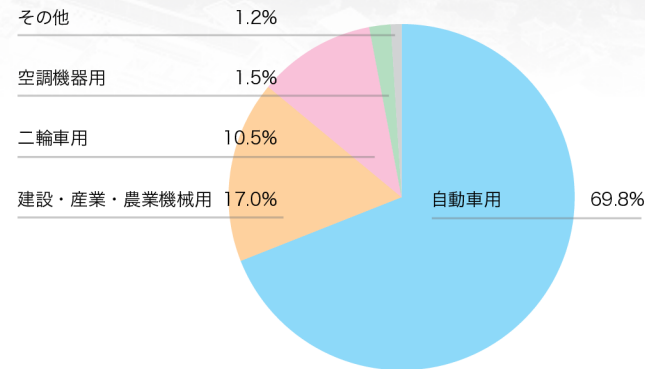
### 数字で見るティラド



### 主な取引先



### 多様な分野にわたる売上構成

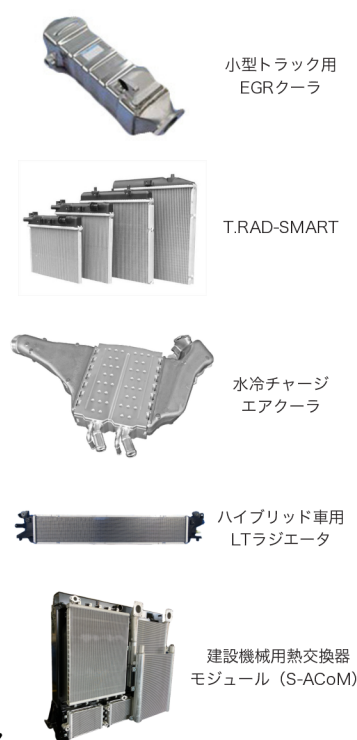


### テクノロジーの進化

#### 創業~1990年代



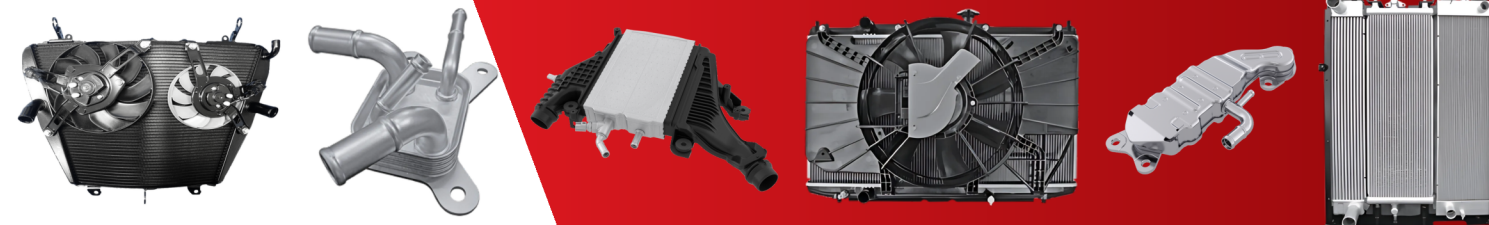
#### 2000年代~現在



GXの実現に貢献する

# 世界No.1

熱交換器メーカーを目指して





## 熱交換器メーカー 株式会社ティラド

当社は、熱交換器の専門メーカーとして1936年に創業いたしました。長い歴史の中で培われた専門技術により、自動車用・二輪車用・建設機械用・産業機械用・農業機械用・空調機器用の各商品を生産してまいりました。近年は応用分野（環境・エネルギー・電子関連）への拡大も図り、生産拠点は日本国内をはじめ、米国・欧州・アジア・中国の世界5極に展開しております。今後も積極的な企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



### 熱交換器とは

熱交換器とは、液体や気体などの流体を用いてその熱エネルギーを授受させるための機器です。ラジエータ、オイルクーラ、チャージエアクーラ、EGRクーラなどは、自動車や建設・産業・農業機械にはなくてはならない重要な機器です。

## 自動車用熱交換器

自動車用熱交換器は当社の第1の柱で、売上高の約80%を占めています。乗用車・トラック・バスなどの自動車および二輪車・ATV向けにラジエータやオイルクーラ、EGRクーラ、チャージエアクーラなど多様な製品を展開し、製品ごとに研究開発体制をとることにより高性能・高耐久を実現しています。HEV、PHEV、BEV、FCEV等の電気自動車関連にも当社の熱交換器が多数採用されています。従来製品も含めたxEV関連製品は、今後も更なる需要増が見込まれています。これらの電気自動車用製品にも軽量化・高性能化を実現した当社独自の最新熱交換器が採用されています。また、二輪車用ラジエータも世界各国で採用され、世界トップシェアを維持しています。



スクーター用  
ビルトインラジエータ



乗用車用  
ラジエータ



ハイブリッド車用  
モータオイルクーラ



ハイブリッド車用  
EGRクーラ

## 建設・産業・農業機械用熱交換器

建設・産業・農業機械用熱交換器は第2の柱で、売上高の約17%を占めています。パワーショベル、ブルドーザー、トラクターなど向けに、ラジエータ、オイルクーラ、チャージエアクーラなどを提供しています。鉱山の様な過酷な環境下でも高性能・高信頼性を実現し、国内外で高い評価を得ています。この分野でも、環境規制や軽量化ニーズに応えた材料・製品の開発を進めています。複数製品を一体化した「S-ACoM」も市場に投入しています。今後はラインアップ拡充とともに、建設機械の電動化に対応する熱交換器の強化にも取り組んでまいります。



建設機械用  
大型モジュールラジエータ

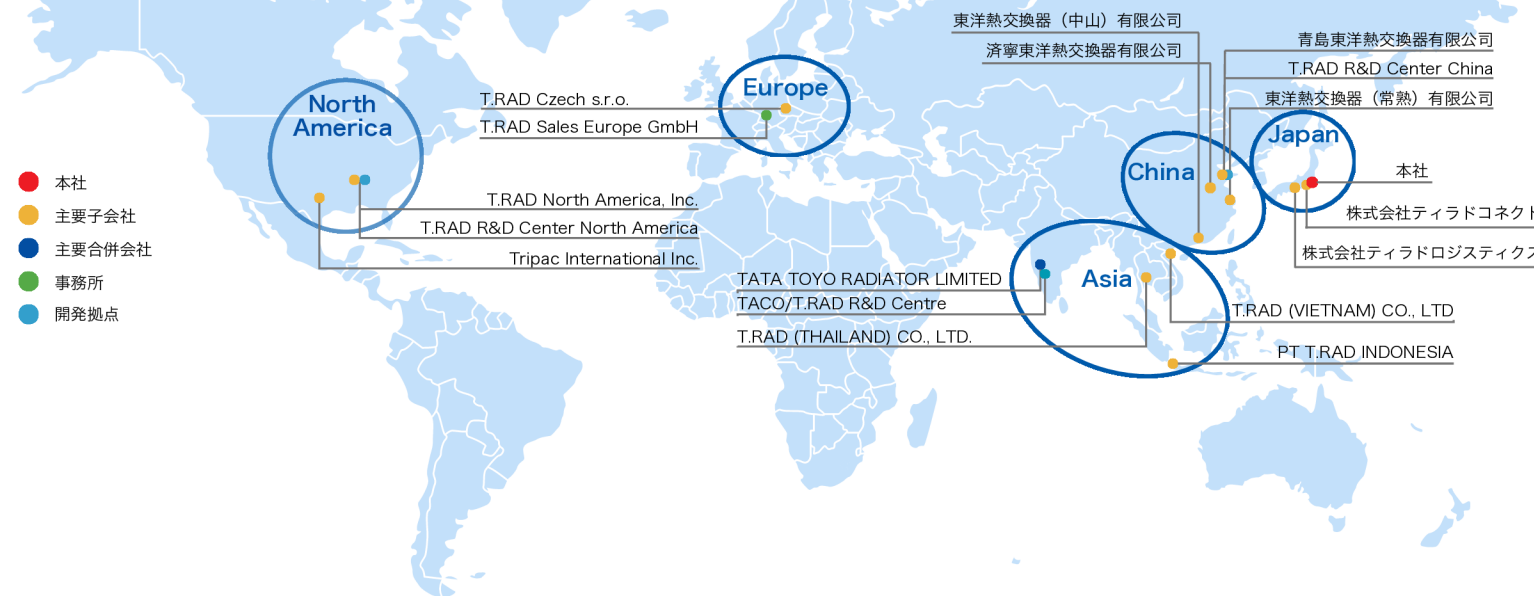


建設機械用  
熱交換器モジュール S-ACoM  
(SMART-Advanced Cooling Module)



## 世界5極体制の展開

世界5極体制の展開により、機動的なグローバルマーケット体制を確立しています。



## グリーントランスフォーメーション (GX) への取り組み

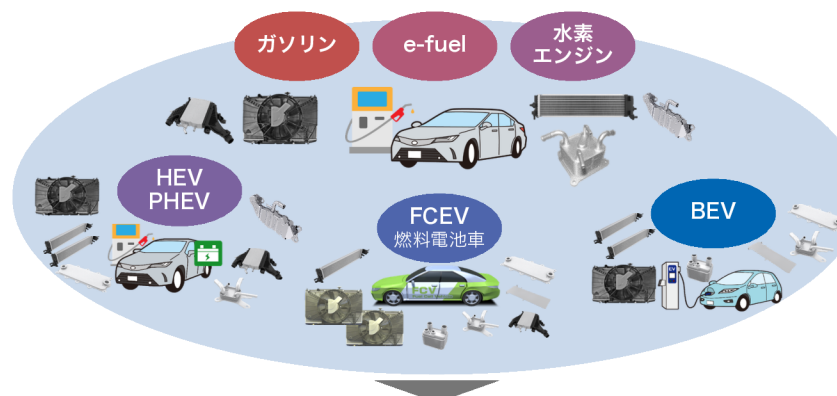


持続可能な社会の実現に向けて、グリーントランスフォーメーション (GX) を推進しています。GXにおける主な取り組みは以下の3点です。

- **脱炭素社会への移行 (Carbon Neutral)**  
温室効果ガスの排出実質ゼロを目指しています。
- **循環経済への移行 (Circular Economy)**  
資源の再利用・リサイクルを通じて、廃棄物の削減に取り組んでいます。
- **自然再興の推進 (Nature Positive)**  
自然の保護と回復を継続的に進めています。

GXに貢献できる熱交換器の開発と拡販を推進していく

## マルチパスウェイ時代に対応する熱エネルギー変換技術



脱炭素社会の実現に向け、ガソリン・e-fuel・水素エンジン・ハイブリッド・燃料電池・バッテリーEVなど、複数の動力源が共存する「マルチパスウェイ」時代が進行しています。いずれの動力源においても、熱交換器は重要な構成要素です。

熱交換器に求められる性能や用途は日々変化し、ニーズは多様化しています。この変化は当社のビジネスチャンスであり、社会や企業からの様々な要望を叶えるため、技術と品質を磨き製品を提供してまいります。

マルチパスウェイ時代において、熱交換器ニーズは多様化かつ増加していく  
→ティラドにとっては市場を拓けるチャンス!